

キャラクター名 テッド・ロータス      プレイヤー名  

<b>種族</b>	ハイマン	<b>種族特徴</b>	デジャヴ、魔法の申し子		
<b>生まれ</b>	操霊術師	<b>性別</b>	男	<b>年齢</b>	23
<b>冒険者Lv</b>	12	<b>経歴</b>	臨死体験したことがある		
<b>経験点</b>	7300		奇妙な予言をされたことがある 師と呼べる人物がいる		

<b>技</b>	7	能力値	<b>A-F</b>	<b>成長</b>	<b>他修正</b>	能力値	ボーナス	<b>技能</b>	Lv.	<b>技能</b>	Lv.
		器用度	9	4		20	3				
<b>体</b>	7	敏捷度	6	2	-4	11	1	コンジャラー	12		
		筋力	5			12	2	スカウト	9		
		生命力	5	6		18	3	セージ	9		
<b>心</b>	13	知力	6	28		47 + 1	8	エンハンサー	5		
		精神力	5	24		42	7	グリモワール	6		

<b>戦闘特技</b>			
ルーンマスター	IB34 p	魔法収束	IB39 p
トレジャーハント	2120p	魔法制御	IB32 p
ファストアクション	2123p		p
影走り	2120p		p
鋭い目	2120p		p
弱点看破	2121p		p
マナセーブ	2123p		p
魔法拡大/数	226 p		p
魔法誘導	223 p		p
鷹の目	IB30 p		p
武器習熟A/スタッフ	IB31 p		p

<b>言語</b>	会話	読文
交易共通語	○	○
神紀文明語		○
ドラゴン語	○	
汎用蛮族語	○	
魔神語	○	
魔動機文明語	○	○
魔法文明語	○	○
妖精語	○	
妖魔語	○	
ミアキス語	○	

<b>練技/呪歌/騎芸/賦術</b>	
ビートルスキン	
メディテーション	
アンチボディ	
ストロングブラッド	
スフィンクスノレッジ	

<b>技能</b>	技能レベル	基本命中力	基本回避力	基本ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

<b>鎧と盾</b>	必要ランク	筋力	回避力	防護点
	マナコート	7		6
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)				1
回避技能	合計値			0 8

<b>武器</b>	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
マナスタッフ	2H	3	1	2d+ 1	12	1	13											
6800マナマテリアル 魔力+1、魔法の武器																		
				2d+														
				2d+														
				2d+														
				2d+														
				2d+														
				2d+														
				2d+														

制限移動	通常移動	全力移動
3 m	16 m	48 m

回避	防護点
2d+ 0	8

HP
56

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
真語魔法	10	22			
操霊魔法	12	24			
深智魔法	10	24			
秘奥魔法	6	17			

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 17	2d+ 10

生命抵抗	精神抵抗
2d+ 15	2d+ 20

MP
128

<b>装備品</b>	説明
頭 とんがり帽子	3000マナ まもちき+1
耳 石人の耳飾り	敏捷-6、防護+1
顔 ひらめき眼鏡	4000マナ 探索、見識探索+1
首 幸運の首飾り	2000マナ 戦利品ゲイス+1
背中 インテリアニマルサック	9000マナ 探索、まもちき、畏、危険感知+1
右手 知性の指輪	共有財産で買ったもの
腰 多機能ブラックベルト	
足 韋駄天ブーツ	
その他 操りの腕輪	with入門の魔導書

<b>装備品</b>	説明
左手 信念のリング	共有財産で購入したもの
不撓のバックル	ガンによる攻撃を精神抵抗で判定 成功で半減

**— その他メモ**

操霊術師を親を持つハイマンの男性。 ハイマンとして生まれたからか魔法適正が高め  
 自分に魔法を教えていた師匠が突然「冒険したくなったから冒険してくる」といった書きを残してどこか行ったため、  
 じゃあ自分も冒険に出るかという謎理論で旅に出る。  
 物事をまっすぐ考えるのが苦手なタイプで、なんでも曲げて考えたがる性格のため、しばしば周りを混乱させがちである。  
 誰だコイツに魔法教えたのは

フェイとは何度か同じ依頼を受けたことがあるがお互いのことはそこまで深く知らないようだ

追記  
 普段は丁寧語混じりの口調でしゃべるが、真面目な話になったりほんとに怒るときは口調が変わる。  
 普段丁寧語混じりでどこか抜けたようなしゃべりをしているのは、相手に自分の考えを読まれにくくする為の方法らしい。

自動失敗  
 チェック  
    ⑤  
    ⑩  
    ⑱  
    ⑳  
    ㉕  
    ㉖  
    ㉗

